

REQUIEM PROJECT in SAYOCHO

レクイエム・プロジェクト in 佐用町

主 催：レクイエム・プロジェクト実行委員会
共 催：佐用町
助 成：公益財団法人 大阪コミュニティ財団(柏岡精三記念基金、西日本
高速道路エリア・パートナーズ倶楽部・地域活性化支援基金B)、
財団法人 アサヒビール芸術文化財団
後 援：兵庫県、兵庫県教育委員会、佐用町教育委員会、NHK神戸放送局
毎日放送、朝日放送、関西テレビ、読売テレビ(以上申請中)
特別協賛：株式会社ケー・エフ・シー
協 賛：三菱東京 UFJ 銀行 協力：和田 忠

写真提供：岡本敏和(佐用写真サークル)

プログラム

- 日本のうた、心のうた <編曲：上田 益>
 - ・小さい秋みつけた…………… サトウハチロー：作詞、中田喜直：作曲
 - ・ゆりかごの歌…………… 北原白秋：作詞、草川信：作曲
 - ・ふるさと…………… 高野辰之：作詞、岡野貞一：作曲
 - ・赤とんぼ…………… 三木露風：作詞、山田耕筰：作曲 ほか
- 大切な“いのち”、そして“ふるさと”へのメッセージ朗読
- 佐用町をイメージした新しいうた ～発表ステージ～
 - ・大切なふるさと…………… 作詞・作曲：上田 益
- J.S. バッハ：G線上のアリア <弦楽合奏版>
- W.A. モーツァルト：ディベルティメント ニ長調 K.136 より第1楽章
- 上田 益：レクイエム ～あの日を、あなたを忘れない～(全10曲)

2011年 **8/28** 午後2時開演
(開場：午後1時30分)
sun

会 場：さよう文化情報センター
(おりひめ文化ホール)

入場料：無料(ただし整理券が必要です)

※定員になり次第、締切らせていただきます。



佐用町内の整理券配布所——
さよう文化情報センター、町民プール「あめんぼ」、各支所地域振興室

※佐用町以外から来場ご希望の方は、mail：requiem@music.nifty.jp
もしくはFAX：03-3424-6691まで、住所、氏名、連絡先の電話番号、
必要枚数を明記の上お申込み下さい。整理券を郵送させていただきます。

お問い合わせ ● 佐用町生涯学習課 電話 0790-82-3336

豪雨災害から2年。
大切な“いのち”、そして“ふるさと”への
思いを歌に込めて!

出演

- 声楽アンサンブル
ソプラノ：北爪かおり アルト：下村美穂 テノール：岡本雄一 バス：今泉仁志
- オーケストラ：長岡京室内アンサンブルと仲間たち
・ヴァイオリン：森 悠子、谷本華子、原田潤一、岸田謙太郎、南條聖子
田中佑子、中野 了、長坂拓巳、田村友里恵、場野まりな
・ヴィオラ：安積宜輝、細川 泉 ・チェロ：野村朋享、中島紗理
・コントラバス：石川 徹 ・フルート：水越典子 ・オーボエ：呉山平煥
・ファゴット：難波 彰 ・ホルン：海塚威生、鈴木啓哉
・トロンボーン：富永玲、小川恭史 ・ティンパニ：細江真弓 ・ハープ：乾ありさ
- ピアノ：林葉子
- 合 唱：レクイエム・プロジェクト佐用町合唱団、神戸いのりのとき合唱団
- 作曲、指揮：上田 益

指導スタッフ：佐用町合唱団指導：緋田芳江、北爪かおり
佐用町合唱団ピアニスト：林葉子、武市直子

「災害から2年～大切ないのち、そしてふるさと」をテーマにした
メッセージを募集中心!(詳細は裏面)

ごあいさつ

豪雨災害から2年となる今年8月に向けて、昨年11月から町民有志が合唱練習を重ねているレクイエム・プロジェクト in 佐用町は、いよいよコンサートを迎えます。プロの音楽家による唱歌や、豪雨災害を風化させないためのメッセージとして、また東日本大震災の被災地に向けた希望と励ましのメッセージとして新しく生まれる佐用町の歌、そしてオーケストラとともに奏でる鎮魂と希望のレクイエムを是非聴きにご来場下さい。

レクイエム・プロジェクト実行委員会 代表：上田益（作曲家）

プロフィール

上田 益 (うえだ・すすむ)



作曲家、サウンド・プロデューサー。1956年大阪生まれ。 レクイエム・プロジェクト実行委員会ならびに追悼コンサート「いのりのとき実行委員会」代表。 京都市立芸術大学音楽学部作曲専攻卒業。廣瀬量平氏に師事。京都音楽協会賞受賞。 1980年度文化庁芸術家国内研修員に選出され、東京において研鑽を積む。 1982年、関西での本格的な活動を開始し、以後1994年秋に拠点を東京に移すまで、クラシック音楽の演奏家からの委嘱により、数多くの作品を発表。また自らも作品展を2度開催する。以後、広島アジア競技大会「開会式」「閉会式」のパフォーマンス音楽、長野オリンピック・公式楽曲「WINTER FLAME」などイベント音楽や、NHKテレビの番組用音楽をはじめ、「1リットルの涙」「黒革の手帖」などのテレビドラマ、アニメなど様々なジャンルにおける創作活動を行なっている。 1999年から神戸ルミナリエ会場演出用の音楽を担当。以後毎年ルミナリエのための作品を現在まで続けているほか、2005年からは阪神淡路大震災の犠牲者のための「追悼コンサート「いのりのとき」を神戸市内で毎年無料で開催。 2008年1月2年がかりで、震災から15年とる2010年1月17日に向けた「レクイエム・プロジェクト」を神戸で実施し、その活動の輪は東京、沖縄、長崎、兵庫県佐用町など自然災害や戦争で傷ついた地域に広がり始めている。

■ 北爪かおり (ソプラノ)

兵庫県立御影高校卒業。京都女子大学文学部教育学科音楽教育学専攻卒業。同大学大学院文学研究科表現文化専攻修了。ベルギー王立音楽院教授クロディン・アルノー女史マスタークラス(日本・ブルージュ開催)修了。第30回兵庫県新人演奏会出演。オペラ「藤戸」(水の精訳)、ミュージカル「レ・ミゼラブル」(ファンティヌ役)出演。在学中より、ソロ、アンサンブルでの演奏活動に加え、モーツァルトオペラ「フィガロの結婚」ハイライト、インスタレーションとのコラボレーション「Play the Prey-あなたがなにかをいるとき-」等、企画・演出も手掛ける。鼓呂雲由子、田中純、緋田芳江、各氏に師事。ザ・タローシンガーズ所属。

■ 下村美穂 (アルト)

福岡県出身。児童合唱団で西洋・日本の合唱音楽に広く親しむ。大阪大学混声合唱団在団中に少人数アカペラのハーモニーに興味を持ち、卒業後は室内合唱・声楽アンサンブルでルネサンス音楽を中心に活動している。バロック唱法を月岡聖芳氏に師事。ヴォーカル・アンサンブル「ヴォックス・フマーナ」のメンバーとして、1999年より上田益氏作曲の神戸ルミナリエ会場演出音楽やCDレーコーディングに参加。また追悼コンサート「いのりのとき」にも第1回より出演。この他ヴォーカル・アンサンブル「レティツィア・ノーヴァ」、池田室内合唱団に所属。

■ 岡本雄一（テノール）

大阪芸術大学芸術学部音楽教育学科卒業。サントリー賞、学長賞を受賞。同大学芸術専攻科演奏専攻(声楽)、同大学院芸術制作研究科修士課程演奏表現(声楽)修了。1986年度フランス音楽コンクール声楽部門第3位入賞。故森脇恵三、福田清美、月岡卓雄の諸氏に師事。J・S・バッハ「マニフィカート」、「クリスマス・オラトリオ」、「ヨハネ受難曲」、「マタイ受難曲」や数多くのカンタータ、モーツァルト「レクイエム」及びミサ曲及び「第9」のソリストなど、また、男声アカペラ・ヴォーカルグループ「ジバングコンソート」のアンサンブルテノールソリストとして数多くの演奏会に出演。現在、ジバングコンソートに所属。

■ 今泉仁志 (バス)

明石市生まれ。大阪音楽大学卒業、同大学院修了。バロック専門団体のメンバーとしてソリスト、アンサンブル歌手を務め研鑽を積む。古楽器によるバッハの宗教ソロカンタータ全曲演奏会、フォルテピアノによるドイツ歌曲リサイタルを開催するなど、古楽器との共演にも積極的に取り組んでいる。プロデューズや企画も手がけ「五つの声を巡るワークショップ」やアルプス山上でのコンサートを開催。'07年よりアカペラ声楽アンサンブル "Taco-taco singers" に参加し明石縁の歌手たちとも活動を始める。日本の歌を中心としたCD「ダニーボーイ」もリリース。大阪コーラルソサエティ常任指揮者。

長岡京室内アンサンブル（音楽監督：森 悠子）



1997年3月に第1回コンサートを開催。以降、毎年2回を基本に定期的にコンサートを開催している。2002年4月、2003年4月と2年連続で「大阪国際フェスティバル」に出演。2003年1月には、フランス・ナント市で開催された音楽祭「ラ・フォル・ジュルネ」に日本の演奏団体として初めて出演。ヴィヴァルディの「四季」は6団体の競演となったが、長岡京室内アンサンブルの演奏・解釈は聴衆に大きな衝撃を与え、「鳥のさえずり、風の音、陽の光・・・自然の風景がそのまま音になっている」と絶賛された。また、同年2月にパリ・ユネスコ本部とトルコ・イスタンブールで開催された「平和の序曲」をテーマにした演奏会に出演。9月には、アメリカ・シカゴにおける「日米通商150年記念・ジャパンフェスティバル」に招かれ、好評を博した。2006年には総合地球環境学研究所主催第1回国際フォーラム「水と未来可能性」オープニング演奏するなど、演奏活動の場が広がっている。2009年7月には、京都・東京でCD第5弾「ブリテンとラテン」のリリースを記念したコンサート「心魂を洗う弦の響き 長岡京室内アンサンブル〜ヒナステラCD/SACD発売記念〜」を開催。長岡京ならではのサウンドと若手演奏家の好演は大変な評価を得た。現在までに5枚のCDをリリース。高度な最新技術を駆使し、レベルの高い演奏から、音楽評論家や音楽専門誌・新聞などでも高く評価されている。

メッセージ
募集

テーマ 「災害から2年 大切ないのち、そしてふるさとへのメッセージ」

- (内容例) ・大切な“いのち”への思い
・傷ついた“ふるさと”への思い
・私の未来、ふるさとの未来に希望すること など

- (100字～200字以内。住所・氏名もお書き下さい。)

- 募集締切り：平成23年8月15日(月)
- 提出先：佐用町役場生涯学習課

※お寄せ頂いたメッセージから、数編をコンサート内で朗読もしくはパンフレットに掲載させていただきます。朗読や掲載できなかった分につきましては、ホール入口に掲示させていただきます。

お問い合わせ：佐用町生涯学習課 TEL.0790-82-3336